

経営計画2021の計画期間(5か年)ダイジェスト

区部下水道主要施策

再構築(下水道管)

詳細: 11ページ

老朽化対策とあわせて雨水排除能力の増強や耐震性の向上などを図る再構築を推進しました。

下水道管の再構築 【枝線の再構築】

整備年代の古い第一期再構築
エリアのうち再構築した面積

5か年で**3,243ha**

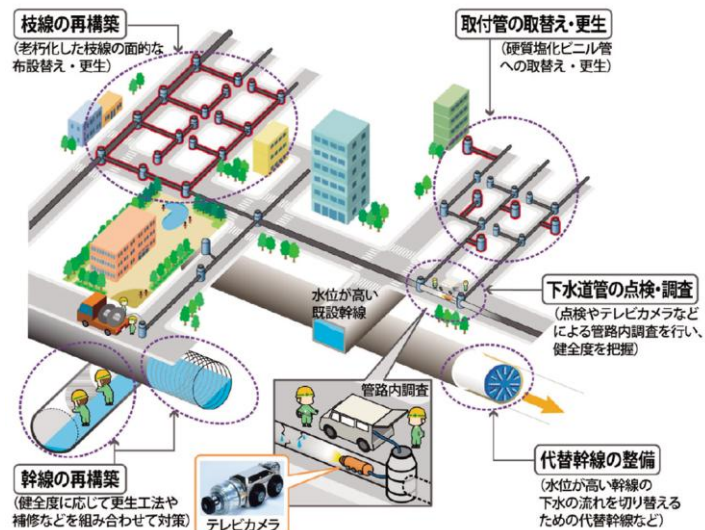
5か年目標
3,500ha

下水道管の再構築 【幹線の再構築】

再構築した幹線の延長

5か年で**35km**

5か年目標
35km



下水道管の再構築のイメージ

計画期間(5か年)の主な取組をダイジェストで紹介します



再構築(水再生センター・ポンプ所)

詳細: 13ページ

老朽化対策とあわせて、雨水排除能力の増強、耐震性や維持管理性の向上、省エネルギー化等を図る再構築を推進しました。

水再生センター・ ポンプ所の再構築

再構築した主要設備の台数

5か年で**458台**

5か年目標
450台



再構築を行ったポンプ設備(小菅水再生センター)

浸水対策

詳細: 15ページ

東京都豪雨対策基本方針に基づき、時間75ミリ降雨に対応する下水道施設整備を推進し、内水はん濫による被害を軽減しています。

重点地区

5か年で
6地区完了

5か年目標
7地区



<https://www.to-shiseibi.metro.tokyo.lg.jp/kiban/gouhouhoushin/index.html>

都は、気候変動による影響を踏まえ、令和5(2023)年12月に東京都豪雨対策基本方針を改定しました。

経営計画2021の計画期間(5か年)ダイジェスト

区部下水道主要施策

震災対策

詳細: 21ページ

震災時の下水道機能や交通機能を確保するため、下水道管の震災対策を推進しました。また、水再生センター・ポンプ所においても、施設の耐震化などの震災対策を推進しました。

下水道管の震災対策

排水を受け入れる下水道管の耐震化等をした施設数

5か年で**1,232か所**

5か年目標
1,200か所

下水道管の震災対策

マンホールの浮上抑制対策を実施した道路延長

5か年で**287km**

5か年目標
250km

下水道管の震災対策

地区内残留地区での震災対策を実施した面積

5か年で**2,190ha**

5か年目標
2,500ha

水再生センター及びポンプ所の震災対策

すべての系統で耐震化を完了した施設数

5か年で**12施設**

5か年目標
12施設

東日本
大震災時
(2011年)



マンホール浮上被害事例

能登半島
地震時
(2024年)



合流式下水道の改善

詳細: 33ページ

降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設の整備を進めるなど、水質改善を推進しました。

貯留施設等の貯留量

5か年で**25万m³**

5か年目標
25万m³



完成した千住関屋ポンプ所内の貯留施設

エネルギー・地球温暖化対策

詳細: 39ページ

下水道事業における地球温暖化防止計画「アースプラン2023」の取組方針に基づき、エネルギー使用量や温室効果ガス排出量を積極的に削減し、環境負荷の少ない都市の実現に向け、取り組みました。

省エネルギー型機器を導入した台数

5か年で**54台**

5か年目標
49台

エネルギー自立型焼却炉への更新

5か年で**3基**

5か年目標
3基



完成したエネルギー自立型焼却炉
(南部スラッジプラント)

経営計画2021の計画期間(5か年)ダイジェスト

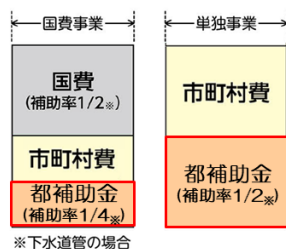
多摩地域の流域下水道主要施策

市町村との連携強化

詳細: 30ページ

強靱化補助制度の創設により市町村の公共下水道の浸水・地震対策を後押しするとともに、下水道事業の持続的な運営に向け維持管理業務に関するノウハウ提供などの技術支援に取り組みました。

また、立川市単独処理区について、都の流域下水道への編入を実施しました。



強靱化補助制度



下水道管の再構築に関する
技術講習会の様子

震災対策

詳細: 21ページ

震災時に必要な下水道機能を確保するために、流入きょ、導水きょ、放流きょ、汚泥処理関連施設などの耐震化を推進しました。

水再生センター及び ポンプ所の震災対策

すべての系統で
耐震化を完了した施設数

5か年で**2施設**

5か年目標
2施設



耐震化した放流きょ
(八王子水再生センター)

雨水対策

詳細: 29ページ

雨水の放流先となる河川がないなど、市単独による雨水排除が困難な地域において、複数市にまたがる広域的な流域下水道雨水幹線を整備し、市と連携して浸水被害の軽減に取り組みました。

流域下水道 雨水幹線による 雨水対策

空堀川上流雨水幹線の
一部区間で
2026年4月より
貯留開始



シールドマシン到達の様子
(空堀川上流雨水幹線)

エネルギー・地球温暖化対策

詳細: 39ページ

「アースプラン2023」の取組方針に基づき、エネルギー・地球温暖化対策を推進し、環境負荷の少ない都市の実現に向け、取り組みました。

省エネルギー型 焼却炉の導入

5か年で**3基**

5か年目標
3基



導入した省エネルギー型汚泥焼却炉
(北多摩一号水再生センター)

経営計画2021の計画期間(5か年)ダイジェスト

東京の下水道への信頼を高める取組

下水道における「りん」の肥料利用

詳細: 48ページ

下水汚泥から肥料の三大要素の一つである「りん」を回収し、「下水再生りん」として有効利用する取組を実施しています。

- りん回収・肥料化施設を導入し、下水再生りんの生産を開始しました。農業試験場で栽培試験を行った結果、既存肥料と同等の肥料効果が確認できました。



りん回収・肥料化施設



農業試験場での栽培試験

危機管理対応力の強化

詳細: 32ページ

能登半島地震の経験を活かし、災害時における生活用水の早期復旧に向け、上下水道一体による応急復旧体制を確保するため、関係機関と連携強化を図りました。

- 区市町村と連携したマンホールトイレの設置やし尿の受入訓練等に取り組むとともに、水道局との合同訓練を実施しました。



し尿受入訓練



上下水道一体による応急復旧

計画期間(5か年)の主な取組をダイジェストで紹介します

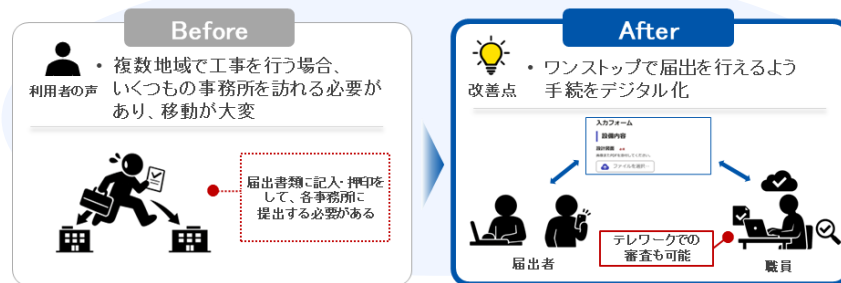


DXの推進

詳細: 45ページ

先端技術と下水道事業との融合による技術開発やオンライン申請サービス導入推進によるお客さまサービスの向上に取り組みました。

- 次世代ポンプ運転支援システムの開発や届出のオンライン申請化を推進しました。



オンライン申請サービスの導入(排水設備の新設等の届出)

広報

詳細: 41ページ

普段目にする機会が少ない下水道のしくみや下水道が果たしている役割、抱えている課題をお客さまに分かりやすく伝える取組を進めました。

- 子どもたちへのでまえ授業や、水再生センターイベントなどでのPRを実施するとともに、誕生25周年を迎えたアースくんのデザインリニューアルなどを通じて下水道事業への関心を高め、理解促進につなげました。



アースくんデザインリニューアル記念イベント